



フクロウの森 (飲食業)

嵐山町鎌形2687-1



■コロナ禍でどのような対応をとりましたか

4月から5月の2か月間、緊急事態宣言に合わせ休業しました。6月からは通常営業を再開しました。

■コロナ禍の飲食店経営はとて難しいものだと思いますが

当店は飲食店ではありますが、ソーシャルディスタンスを保てる席になっていて、外にも席があるため、密になりません。

コロナ禍の夏においては、テラス席や外で飲食をするという流れができました。当店にとっては世間の流れがむしろ追い風になりました。

■どのようなお客様が来店されましたか

当店にはドッグランが併設されているので、お客様の多くはペットを飼っている方々です。SNSで映えるようなイベントを展開することもあります。

自分の子どもをSNSで発信する方はそこまで多くはありませんが、ペットについては積極的に発信する方が多いと感じています。SNSでお客

様を取り扱ってくれると情報が拡散され、当店の宣伝にもなります。

■コロナ禍でもお客様が来店してくれる理由は何でしょうか

カフェとドッグランが併設されているお店ならそこまで珍しいものではないと思います。当店にはそれらに加えて嵐山溪谷の自然があることが大きな武器になっていると感じています。

溪谷内の散策は密にはなりませんし、嵐山溪谷の自然を目当てに来たという方も多くいらっしゃいます。嵐山溪谷の自然は都会の方々からとても人気があると感じます。町民としてとても嬉しく、誇らしい気持ちです。



株式会社 明光ネット (学習塾)

嵐山町むさし台2-17-6

■コロナ禍でどのような対応をとりましたか

昨年3月から4月の一部期間休塾としました。この時期にオンライン授業の準備を進めました。

タブレット等の機材は塾には元々ある程度の準備がありました。しかし、機材の準備のあるご家庭は多くはありませんでしたので、そこは課題となりました。特別定額給付金で機材を用意したご家庭もあったようです。

■塾を再開するにあたりどのようなことに注意されましたか

学習塾は密になりやすいので、感染防止対策には気を使っています。消毒、換気、検温など基本的なことを徹底しています。検温してこない生徒には残念ながら帰宅してもらったこともありました。事業者としての責任があるので、感染者を出さないよう最大限注意を払っています。

■休塾後の生徒達の様子はどうでしたか

休校中、生徒達は相当なストレスを抱えていたようでした。久しぶりに友達と会ったからか、中々塾から帰ろうとしない子もいました。心苦しかったですが、感染リスクを考えて仕方なしに帰ってもらっていました。

■学習塾としてコロナ禍で感じたことはありますか

学ぶ機会の不平等を感じます。公立学校でも各地域間で学習機会の温度差があります。また、オンライン授業においてもタブレット等の機材を使いこな

せるご家庭と使いこなせないご家庭があります。今まで以上に学習機会の差が広がってしまうのではないかと危惧しています。

■今後の学習塾にはどのようなことが求められるとお考えですか

コロナ禍でオンライン授業が普及しました。その影響もあり、学習塾の間でもAIを活用した授業が注目されていますが、AIとは違う人間の役割があると思っています。

私達は先生が一方向的に話すのではなく生徒にしゃべってもらう、生徒に応じたギリギリのヒントを出すということを大事にしています。それらはAIではなく人間にこそできる仕事だと思います。また、生徒のモチベーションを上げることも人間にしかできないことだと思っています。

コロナ禍では人と人のつながりが希薄になりがちですが、人間同士だからこそできる役割を大切に、子ども達の学習を支えたいと考えています。

